

フランス本国と日本で驚異の大ヒットを記録した『アメリカ』のジャン=ピエール・ジュネ監督の最新作『天才スピヴェット』の公開日が**11月15日(土)シネスイッチ銀座、ヒューマンラストシネマ渋谷ほか全国順次ロードショーと決定いたしました!**

『デリカテッセン』、『ロスト・チルドレン』、『アメリカ』など、独自の世界観で芸術性の高い映像を世に送り出してきたフランス映画界を代表するジュネ監督が、原作にひと目惚れし、初の感動ドラマに挑んだ本作。さらに自身初となる3Dに挑戦、徹底的につくりこんだ映像が、観る者をまさに夢の旅へと連れ出します。

主人公は、10歳の天才科学者スピヴェット。自分の才能を理解してくれない家族に黙って、権威ある科学賞の授章式に出掛ける為、アメリカ大陸を横断するという、壮大なスケールの家出を企てる。実はスピヴェットの家族は皆、彼の弟の死によってポツカリ空いた心の穴を抱えていた。それを小さな体で懸命に埋めようとするスピヴェットの健気な姿は、涙なくしては見られない。スピヴェットは無事に家へ帰り、家族は再び心を通い合わせることができるのか――?

主人公の10歳の天才科学者スピヴェットには、彼自身が7歳以下の武道選手権の世界チャンピオンであり、6ヶ国語を操る天才少年カイル・キャトレット。虫に恋する風変りな母親役には、『英国王のスピーチ』やティム・バートン監督作品でおなじみのヘレナ・ボナム=カーター。アートとドラマの幸せな融合――、奇才ジュネ監督史上、最も感動的な最高傑作が、ここに誕生しました!!

第27回 東京国際映画祭
ジャン=ピエール・ジュネ監督、
主演カイル・キャトレット 来日決定!

ジャン=ピエール・ジュネ
(監督/脚本/制作総指揮)

1953年、フランス生まれ。

1991年、長編映画監督デビュー作の『デリカテッセン』が、同年のフランス国内観客動員数第3位の大ヒットを記録、セザール賞の新人監督作品賞、脚本賞を含む4部門を獲得。

日本でも第4回東京国際映画祭で金賞を受賞、驚異の新鋭として一躍時の人となる。マルク・キャロと共同で監督した『ロ

『スト・チルドレン』(95)は、インディペンデント・スピリット賞外国映画賞にノミネート。その才能をハリウッドからも注目され、『エイリアン4』(97)の監督に抜擢されるも、ハリウッド流儀に合わなかったのか、その後4年間沈黙する。2001年、満を持して監督した『アメリ』が大ヒット、日本でも熱狂的なブームとなり、世界にも認められ、アカデミー賞は脚本賞を始めとする5部門、ゴールデン・グローブ賞は外国語映画賞にノミネートされ、英国アカデミー賞オリジナル脚本賞を受賞。続く、『ロング・エンゲージメント』(04)はセザール賞5部門を受賞、アカデミー賞では2部門にノミネート、『ミックマック』(09)はセザール賞3部門にノミネートされる。



2002年、アメリカ生まれ。

ロシア語(母はロシア系)や北京語など6つの言語を操ることができ、さらに武術にも秀で、3年連続で総合格闘技の世界チャンピオンを獲得、2010年にはアメリカのジュニア武術チームの一員になる。

7歳の時にCMに出演、続いて「マーシー・ホスピタル」(09)、「アンフォゲッタブル 完全記憶捜査」(11)、連続殺人犯の息子役を演じた、ケヴィン・ベーコン主演の「ザ・フォロイング」(13)などのTVシリーズで知られるようになる。さらに、短編映画『The Pale of Settlement』(13)での演技が称賛される。本作で長編映画デビューを果たす。

最新作は、ギル・キーナン監督、サム・ロックウェル主演で大ヒットホラー作『ポルターガイスト』をリメイクする『Poltergeist』(15)。

STORY

モンタナの牧場で暮らす10歳のスピヴェットは、生まれつきの天才だ。だが、身も心も100年前のカウボーイの父と昆虫博士の母、アイドルを夢見る姉には、スピヴェットの言動が今ひとつ分からない。さらに、弟の突然の死で、家族の心はバラバラになっていた。そんな中、スピヴェットにスミソニアン学術協会から、最も優れた発明に贈られるベアード賞受賞の知らせが届く。初めて認められる喜びを知ったスピヴェットは、ワシントンDCで開かれる授賞式に出席するべく、家出を決意する。数々の危険を乗り越え、様々な人々と出会うスピヴェット。

何とか間に合った受賞スピーチで、彼は〈重大な真実〉を明かそうとしていた――。



監督:ジャン=ピエール・ジュネ『アメリカ』『デリカデッセン』『エイリアン4』

原作:「T.S.スピヴェット君傑作集」ライフ・ラーセン著(早川書房刊)

出演:カイル・キヤトレット(新人)、ヘレナ・ボナム=カーター『チャーリーとチョコレート工場』『英国王のスピーチ』、ジュディ・デイヴィス、カラム・キース・レニー、ニアム・ウィルソン、ドミニク・ピノン

原題:『The Young and Prodigious T.S. Spivet』/105分/フランス・カナダ合作/カラー/シネスコ/5.1chデジタル

字幕翻訳:松浦美奈

(c) EPITHETE FILMS - TAPIOCA FILMS - FILMARTO - GAUMONT - FRANCE 2 CINEMA

11月15日(土)シネスイッチ銀座、ヒューマンラストシネマ渋谷ほか全国順次公開

spivet.gaga.ne.jp

